

行事	場所	月日曜	時間	内容
個別栄養相談	保健センター	5月11日(火)	13:00~16:00 申込制 (1週間前まで)	管理栄養士による糖尿病・高血圧・痛風・腎臓病・肝臓病・高脂血症・肥満などの食事指導と相談
		5月26日(水)		
		6月8日(火)		
健康相談 ※健康教育	保健センター	随時(月)~(金)	8:30~17:00	○血压測定
	松前老人憩の家	5月11日(火)	10:00~11:00	○血压測定
		6月1日(火)		
	上高柳集会所	5月11日(火)	9:30~10:30	○血压測定 ※転倒予防について
	永田公民館	5月18日(火)		○血压測定 ※骨粗鬆症予防について
	北川原集会所			○血压測定 ※転倒予防について
	北黒田公民館	5月20日(木)		○血压測定 ※骨粗鬆症予防について
	西古泉公民館	5月21日(金)		○血压測定 ※転倒予防について
	神崎集会所	5月25日(火)		○血压測定 ※転倒予防について
	鶴吉公民館			13:30~14:30
東古泉公民館	5月27日(木)	9:30~10:30		○血压測定 ※肺がん予防について
大溝公民館		○血压測定 ※骨粗鬆症予防について		
地域リハビリ教室 “ぬくもり”	保健センター	5月14日(金)		13:30~15:30 (申込制)
デイケア (精神障害者社会復帰促進対策事業)	保健センター	5月7日(金)	9:30~15:00	○手芸
		6月4日(金)	(申込制)	○卓球
献 血	日商プロパン(株)	5月14日(金)	10:00~11:30	献血は尊い♥の贈り物 お近くの場所にお出かけください。
	トータスエンジニアリング(株)		13:00~14:30	
	愛媛県警察学校		15:00~17:00	

診療室からこんにちは 第84回

哺乳と咬む能力

清水歯科医院

清水裕之

皆さんは赤ちゃんが、どのようにして、お母さんのおっぱいを飲んでるかご存じでしょうか。一般におっぱいを吸うと言いますが、赤ちゃんはおっぱいをストローで吸うように飲んではいません。赤ちゃんは、口唇、舌、頬粘膜口蓋を複雑に運動させ乳首からおっぱいを絞り出しています。

人間が生きる上で、最も必要な機能は物を食べることです。ですから赤ちゃんは、生後すぐにおっぱいを飲み、咬む能力を増大させ将来の固形食への移行の準備をします。ところが、吸飲型乳首や流し込みタイプ乳首を使用した哺乳瓶哺乳の場合には、赤ちゃんはストローで吸うような単純な運動を行うことになりません。

このような運動では、将来の咬む能力の発達を期待することができません。さらにこのタイプの哺乳では、舌位の異常を引き起こす可能性があります。舌位とは安静時の舌の先端の位置で、通常、安静にしている時、舌の先端は上の前歯の後に

付いています。しかし吸飲型の哺乳しか行っていない赤ちゃんは、この正常な舌位を取れない場合があります。この舌位の不良により不正咬合(咬み合わせの不良)を生じ、さらに咬む能力が低下する可能性があります。

人間の機能の発達は、連続して進みます。また発達するための最適な時期(臨界期)が存在し、その時期を逃すと一生その機能は低いままとなります。すなわち哺乳という、咬む機能の発達の最初の段階での失敗は、後々の影響が極めて大きいのです。

以上述べたように、咬む能力を発達させるには乳房哺乳が最善です。乳房哺乳が不可能な場合は、健常児であれば咬合型乳首を用いた哺乳瓶を使うことをお勧めします。咬合型乳首は乳房哺乳に近い口の動きで、ミルクを飲むように設計されているので咬む能力の発達を促進することができます。